よくわかる・ 唐 合併症・併存症とそのリスク 有村歯科クリニック 鹿児島県歯科医師会 地域保健部 常務理事

第6回 一糖尿病と口腔の関係

糖尿病と歯周病とインスリン抵抗性

あることは皆さんご存知のことと思い 口腔の疾患としてう蝕と歯周病が

びます。)にしてしまうことがわかって ういうわけでもなさそうです。 ロールを不良(インスリン抵抗性と呼 者がそのような状況かというと実はそ います(図1)。では全ての歯周病患 果を阻害して、結果的に血糖コント 質であるTNFーαがインスリンの効 歯周病の病巣から産生される炎症物 長いと歯周病が悪化することが知られ 第6の合併症あるいは併存症と言わ 場合は特に何に気をつけたら良いので が必要です。では糖尿病の患者さんの 応と管理には継続した口腔健康管理 ています。また、歯周病が悪化すると、 生活習慣病でもありますので、その対 しょうか。そもそも歯周病は糖尿病の う蝕も歯周病も細菌感染症であり 糖尿病に罹患した状態が

肥満と糖尿病と歯周病

ありません。一方で軽いメタボの方 ロールが不良となっている方が少なく 内の状態にかかわらず既に血糖コント で、メタボの程度が強い方には、 性を惹起していると言われていますの 物質を多量に産生してインスリ抵抗 と炎症物質との関係が指摘されてい かというと、明らかにはされていませ されるほどの炎症物質が産生される やすいと思います。では重度歯周病 病をイメージしていただけたら分かり てはグラグラした歯を伴う重度歯周 腔から微小な出血を伴い、場合によっ であるということです。すなわち、口り、全身に影響を及ぼすような病態 りません。まず、歯周病が重度であ あれ、歯周病に罹患していると言われ ます。もともと肥満そのものが炎症 だけで全身のインスリン抵抗性が惹起 ていますが、その全ての方にインスリ んが、実はそこに肥満すなわちメタボ 抵抗性が存在するという訳ではあ 日本人の8割の方が程度の差こそ

> 図2。 促進していることがわかってきました 質が軽いはずのメタボ組織に影響する 歯周病の病巣から産生される炎症物 でも、重度歯周病を放置していると ことで、全身からの炎症物質産生を

ちょっぴりメタボで 重度歯周病とHbA1c

ボってどの程度でしょうか。一説には 病と診断されたらまずはご自身の口 全く自覚されない方も多く、そこにサ 歯周病が糖尿病に大きく影響してい あろうかと思います。したがって糖尿 歯肉から出血しているにも関わらず う実態があります。現実には全ての と言うと実は意外に自覚しにくいとい 程度かと思います。一方で歯周病は 言ったところで気にすれば自覚できる BMI25前後と言われていますので るという訳です。ではちょっぴりメタ イレントディジーズと言われる由縁が 本当にわずかに肥満が目立つかな、と すなわち、ちょつぴりメタボで重度

> とがとても大切です。そしてちょっぴ りメタボで重度歯周病の状態の糖尿 腔内がどのような状態かを見極めるこ ています。 HbA1cが改善できることが分かっ 病の患者さんに歯周病治療を施すと

全ての糖尿病患者さんに 口腔健康管理を

足かせとなっていた阻害要因を排除す の病態の悪化を防ぎ、場合によっては 管理することで全ての糖尿病患者さん を開始すべきと考えます。歯周病を れた全ての患者さんは口腔健康管理 とは間違い無いので、糖尿病と診断さ 尿病の病態悪化の要因の一つであるこ 尿病の患者さんにおいて歯周病は糖 まる患者さんの場合ですが、全ての糖 周病を管理する効果が一部の患者さ か?ここで勘違いされやすいのが、歯 糖尿病患者さんだけで良いのでしょう 1 c の改善には一定の条件に当ては んのみという誤解です。確かにHbA では歯周病を管理するのは一部の

院長

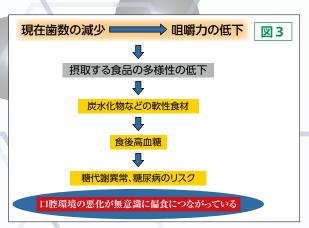
有村

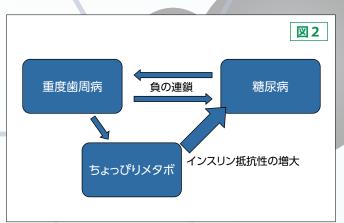
健

よくわかる糖尿病~合併症・併存症とそのリスク

第6回 糖尿病と□腔の関係







きるかもしれません。 ムーズに糖尿病治療を進めることがで 歯が無ければ歯周病もないので

ることができれば、これまで以上にス

口腔管理は不要でしょうか?

のリスクを高めてしまうこと分かって 歯を失ったまま放置してしまった場 うことが分かっています。したがって、 す。その点からも糖尿病と診断され 導通りには食生活は改善できないので かないまま栄養指導を受けても、 わち咀嚼障害になっていることを気づ います(図3)。そのような状態すな 化物に偏った食生活にシフトしてしま われた歯の欠損部への補綴治療が極め が失われ、 うことで無意識に食べる食材の多様件 クは無くなります。しかし、 康管理は不要でしょうか? では既に歯が無い状態なら、 確かに歯を失えば、歯周病のリス 食生活の観点から糖尿病の進行 歯周病を管理すると同時に失 結果として柔らかい炭水 まずは口腔内の健診を受 歯を失 口腔

> 全ての糖尿病患者さんの 歯周病と咀嚼障害の改善へ

物療法、 例が多く報告されていますので、 尿病治療がよりスムーズに進んだ症 いった足かせを除くことで、本来の糖 の介入で、重度歯周病や咀嚼障害と には得られなかった患者さんが、歯科 を見つけていただき、 医と眼科主治医と同様に歯科主治医 欄が設けてありますから、内科主治 のみならず、歯科治療に関する所見 活用ください。糖尿病手帳には眼科 です。そこで是非、糖尿病手帳をご 糖尿病罹患の患者さんの歯科治療の ができるかもしれません。まだ歯科的 として今の薬剤を1剤でも減らすこと てもなかなか血糖コントロールが十分 れることをお勧めします。これまで薬 始めていただきたいのですが、 必要性の理解は進んでいないのが現状 だ医科歯科医療連携が進んでおらず、 このように、 運動療法、 糖尿病と診断され 食事療法を始め 定期的管理をさ 結果

国保力では No.635

余計なブレーキを掛けたままの状態

かもしれませんから(図4)。

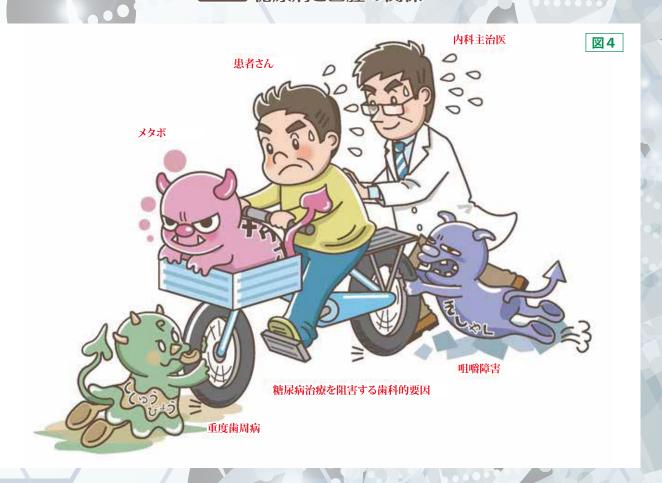
医院を受診されてみてください。ひょつ

して重度歯周病や咀嚼障害といった

ムーズな糖尿病治療のためにも歯科 介入を経験されていない方は是非、

よくわかる糖尿病~合併症・併存症とそのリスク

第6回 糖尿病と口腔の関係



口腔健康管理が必要糖尿病発症前から

これまで述べたように、スムーズな糖尿病治療のためにも歯科的介入が糖尿病治療のためにも歯科的介入が糖尿病と診断されてからで良いのでしょうか。糖尿病と診断される随分以前からインスリン抵抗性が始まってじわじわとインスリン妊統性が始まってじわいる訳ですから、糖周病を管理するとともにしっかりよく噛んで食べる食生活を維持してメタボを予防し、食の多様性が失われないようにすることがとても大切ですね。口腔健康管理は糖尿病の発症予防の観点からもとても大切です。

糖尿病連携協力歯科医名簿鹿児島県歯科医師会

庭児島県歯科医師会では糖尿病医生方の名簿をHP上で公開しています。もしかかりつけ歯科医院があればす。もしかかりつけ歯科医院があればす。もしかかりつけ歯科医院があれば、この名簿からかかりつけ歯科と口腔健康管理を始めていただけたと口腔健康管理を始めていただけたらと思います。

執筆者



鹿児島県歯科医師会 地域保健部 常務理事 有村歯科クリニック 院長

有村 健二

といます。 というと思います。 と非、かかりつけ歯科医を持たれて、 というというだけ とする生活 というだから を当りでは とする生活 というだから によりとする生活